

1 単元名 Lesson 6 Shedding Tears for My Patients
／ PRO-VISION English CommunicationⅡ (桐原書店)

2 単元の目標

- ペアワークやグループワークに積極的に参加し、相手の意見を尊重しながら自分の意見を主体的に伝えようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 自分のロールモデルについて説明することができる。また、質問をしたり相手の質問に答えたりすることができる。 (外国語表現の能力)
- 将来の生き方に関する英文を読み、未知の語の意味を推測しながらその概要を理解することができる。また、相手の発表を聞いて要点を理解することができる。 (外国語理解の能力)
- 未来表現, ifのない仮定法, さまざまな動名詞の用法について理解している。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元の指導について

(1) 教材観

本単元は、小児がんの専門医である細谷亮太氏が、病気の子どもたちから人間の素晴らしさを教えられ、自分の存在意義や生きがいを見つけた経緯について書かれている。細谷氏の生き方から、今後の生き方について、生徒自身が意見を話したり書いたりする表現活動 (personalization) まで発展させることのできる教材である。

表現力を育てる授業の工夫として、ロールモデルのプレゼンテーションを設定する (ロールモデルとは、「将来において目指したいと思う、模範となる存在であり、そのスキルや具体的な行動を学んだり模倣したりする対象となる人材のこと」厚生労働省「メンター制度導入・ロールモデル普及マニュアル」)。生徒は、1年時の道徳でまとめた「在り方・生き方を考える～壁を乗り越えた人たち」の資料を活用することで、具体的で分かりやすいプレゼンテーションが可能となり、その後の質疑応答や意見交換の内容を深めることができる。自分の将来について考えていることを伝え合うことで、英語を使って思いを伝え合うことの喜びを生徒同士で共有させたい。

(2) 生徒の実態

本学級は、明るく積極的に授業に臨もうとする雰囲気がある文系のクラスであり、将来、語学や異文化理解、国際関係の仕事を目指す生徒が*割以上在籍する。多くの生徒が中学校で双方向的な言語活動を経験し、英語学習に関する意識調査 (平成27年*月*日実施, 第*学年*組*人) においては、*人の生徒が英語学習を好きと答えていた。また、英語を学習する目的を、大学受験の準備より「英語がコミュニケーションツールとして必要」と認識している生徒は*人いて、英語に対する前向きな学習意欲をもっている。一方で、*人の生徒が英語での自己表現に対する苦手意識をもち、入学当初から間違えことへの不安を抱えていて、表現活動には興味をもっているが、表現の場で臆してしまう場面も見られる。自ら発言する、英語を聞いてそれに応じる、意見交換をすることに抵抗があると思われる。これまでの指導で、生徒が無理なく自己表現するための段階的な指導と継続的な表現の場の設定が不十分であったと考える。

(3) 指導観

学習到達目標 (CAN-DOリスト) を提示し、中学校でのインタラクティブな活動から、即興性を重視した表現活動を行う意識付けをする。また、指導者と生徒が共有し、指導の手立てと活動内容を明確に理解することで、単元の目標に向けて、生徒が必要なスキルや表現を身に付けるための能動的な学習が可能となるようにする。

まず、ペアでのスピーキング活動を帯活動として設定する。教科書の音読や口頭要約に加え、与えられた話題を即興で話すone-minute monologueを行う。次に、個人の

ロールモデルについて、聞き手が理解しやすい段落構成を意識した発表原稿を作成し、手持ち資料として、グループでプレゼンテーションを行う。その際、抵抗なく自信をもって表現活動に取り組めるようにするために、ロールモデルの主語を“I”に置き換えることで、ロールモデルと生徒自身の同一化を図る。プレゼンテーションの後、即興で質問等をしやすくするために、コミュニケーションを円滑に進めるための手立てであるcommunication strategiesを使い、理解を深めるために質疑応答をしたり、印象に残った言葉等について感想を伝え合い、各グループで最も紹介したいロールモデルについて話し合う。最後に、理由を添えて全体でサマリースピーチを行う。

中学校における双方向的なコミュニケーション活動からの接続を図り、即興性を重視した表現活動を通して、相手を意識しながら英語を使う力を育てたいと考える。

4 指導と評価の計画（10時間扱い）

時	本時の目標	学習活動・内容	観 点				方 法	評 価 規 準
			関	表	理	知		おおむね達成
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークやグループワークに積極的に参加し、相手の意見を聞いたり、自分の意見を主体的に話したりする。 細谷氏が医師を選択した理由、病気の子どもたちとの向き合い方、自分の存在意義を認められるようになった経緯について概要をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動 リスニング Q&A 速読 	○	○			ワークシート 自己評価表 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークやグループワークに積極的に参加し、相手の意見を聞いたり、自分の意見を主体的に話したりしている。 英文を聞いたり、読んだりして、概要をつかむことができる。
3 8	<ul style="list-style-type: none"> 細谷氏の医師としての思いと、彼が考える生きる意味について読み取る。 ペアワークにおいて、キーワードを用いて、各パートの口頭要約を即興でする。また、「もし私が細谷氏の立場だったら」どう行動していたか、相手に伝える。 未来表現will, ifのない仮定法、動名詞（否定・受け身・意味上の主語）の使い方を理解する。 自分のロールモデルの発表原稿を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動 Q&A 音読活動に関連させた口頭要約 発表原稿作成 		○	○	○	ワークシート 自己評価表	<ul style="list-style-type: none"> 小児がんの専門医として、病気と闘う子どもたちと向き合う細谷氏の思いと、彼が考える生きる意味について読み取ることができる。 即興で目的に応じて簡潔に話すことができる。 willを使った表現、ifのない仮定法、動名詞（否定・受け身・意味上の主語）の使い方を理解している。 自分のロールモデルについて、文章構成を工夫して分かりやすく伝えることができる発表原稿を作成することができる。
9 本時	<ul style="list-style-type: none"> ペアワークやグループワークに積極的に参加し、相手の意見を尊重しながら自分の意見を主体的に話す。 自分自身のロールモデルの文のつながりや構成に気を付け相手に伝える。 プレゼンテーションを聞き、質疑応答をして、話の要点をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動 プレゼンテーション 	○	○	○		発表原稿 ワークシート 自己評価表 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> グループ・ワークに積極的に参加し、相手の意見を尊重しながら自分の意見を主体的に話そうとしている。 自身のロールモデルについて、文章構成を工夫して分かりやすく伝えることができる。 プレゼンテーションや質問の答えを聞いて、話の要点を理解することができる。
10	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ原稿の加筆訂正をグループ内で検討し、提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動 ライティング 		○	○		発表原稿 提出用原稿	<ul style="list-style-type: none"> 前時の発表を基に、文法、語法、文の構成を適切な形に訂正し、必要に応じて情報を加えることができる。

5 本時の指導

(1) 目標

- ペアワークやグループワークに積極的に参加し、相手の意見を尊重しながら自分の意見を主体的に話そうとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 自分自身のロールモデルについて文のつながりや構成に気を付けて相手に伝えることができる。 (外国語表現の能力)
- プレゼンテーションを聞いて、それについての質疑応答をすることで、話の要点をとらえることができる。 (外国語理解の能力)

(2) 準備・資料

発表用原稿, ワークシート, 自己評価表, プレゼンテーションツール

(3) 展開

学習活動・内容	指導と評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up (ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ one-minute monologueを行う。なじみの話題について自分の意見を即興で伝える。 ・ ワードカウンターに使用語数を記入する。 <p>3 Check Today's activities</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">- Today's Activities -</p> <p>① Give a presentation on your role-model.</p> <p>② Ask and Answer questions.</p> <p>③ Tell impressions.</p> <p>④ Have a discussion about the most impressive role model.</p> <p>⑤ Feedback/Reflection</p> </div> <p>4 Presentation and Discussion (グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Chairperson 1人・Speaker 1人・Listener 2人の役割で、役割を変えて一巡する。 <p>【Chairperson】</p> <p>スクリプトを用いてプレゼンテーションの司会をする。ディスカッション後に、最も印象に残ったロールモデルの名前を板書する。</p> <p>【Speaker】</p> <p>ポスターを見せながら、相手に意味内容が伝わるように、易しい英語で、音声や強弱に留意し、はっきりと話す。</p> <p>主語をIにして自分のロールモデルを演じこれまでの生き方を発表する。事前に用意したポスターと発表原稿を使ってグループ内で約1分30秒間プレゼンテーションを行う。</p> <p>【Listener】</p> <p>ワークシートにメモをしながら聞く。その後、1分間でメモを見直し、質疑応答をした後、印象に残った言葉や内容等を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で最も印象に残ったロールモデルを一人選び、その理由を述べ合う。 ・ クラス内で各グループのサマリースピーチを聴く。 <p>5 Feedback / Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価表の記入 <p>6 Greeting</p>	<p>指導と評価</p> <p>帯活動：1分間スピーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒になじみのある話題をトピックとして提示する。即興で話す力の向上を目指すために記録を残させる。 ・ 学習課題と自己評価表を配布し、個人で本時の目標を設定しやすくする。 ・ 事前に、相手に分かりやすく自己表現するための論理的構成を意識させるワークシートを配布し、発表原稿を準備させておく。 ・ Chairperson script を配布する。 ・ Communication strategiesをできるだけ使用するよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">- Communicarion strategies -</p> <p>1. 別の言葉で言い換える</p> <p>2. 相づちを打つ</p> <p>3. 説明を求める</p> <p>4. 内容をふくらませる</p> <p>5. 意見・感想を言う</p> <p>6. 話を総括する</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">-Chairperson script for summary speech-</p> <p>Hello. Our role models are <u>4人(5人)の</u> <u>ロールモデルの名前</u>. Among them, our most impressive role model is <u>名前</u>. その人物説明をする(何者?何をした?). We are impressed by her / him. It's because Thank you for listening.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモはキーワードにとどめ、聞くことに集中するよう伝える。 ・ 各グループを机間指導し、終始英語でやり取りをするよう指示し、必要に応じて支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦ グループ・ワークに積極的に参加し、相手の意見を尊重しながら自分の意見を主体的に話そうとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦ 自身のロールモデルについて、文章構成を工夫して分かりやすく伝えることができる。 (外国語表現の能力)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦ プレゼンテーションや質問の答えを聞いて、話の要点を理解することができる。 (外国語理解の能力)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数グループのまとめ発表についてコメントし、全体にフィードバックする。 ・ 本時の自己の取組を振り返り、うまく伝えられなかった点など次時のスピーチ原稿の加筆訂正へつなげるよう伝える。